

2025 年 4 月 28 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 経営管理部長 佐藤 義彦
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : ir@chorditherapeutics.com

CTX-177 (ONO-7018) の開発中止のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋）は、粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座タンパク質 1 (MALT1) 阻害薬である CTX-177 (ONO-7018) のライセンス供与先である小野薬品工業株式会社（以下「小野薬品」）から、本日、以下の通知を受けましたのでお知らせいたします。

・小野薬品は、戦略上の理由により CTX-177 (ONO-7018) の開発を中止し、CTX-177 (ONO-7018) の開発、製造および商業化に関する権利を当社に返還する。

当社と小野薬品は 2020 年 12 月にライセンス契約を締結し、全世界において CTX-177 (ONO-7018) およびその関連化合物を独占的に開発、製造および商業化する権利を小野薬品に許諾しました。小野薬品は米国および日本において、再発または難治性の非ホジキンリンパ腫もしくは慢性リンパ性白血病の患者を対象に第 1 相臨床試験を実施していましたが、本日、小野薬品から戦略上の理由により開発を中止するとの通知を受領しました。

当社は今後、CTX-177 (ONO-7018) の全世界での全権利を有することとなります。小野薬品との間で、現在進行中の試験の取り扱い、これまでに得られたデータの移管、知的財産の取り扱い等、ライセンス契約終了に関する協議を進め、当社は今後の選択肢を検討してまいります。

なお、本件に伴う金銭の授受は発生いたしません。ライセンス契約においては、開発の進捗に応じたマイルストーン収入を受領できる旨定められており、本件に伴い当該収入の受領が見込めない状況であるものの、当面のリードパイプライン rogocekib の第 1/2 相試験進行を含む、足下の研究開発等に直ちに影響が及ぶことはないと考えております。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。 私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。 rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。 また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細については、<https://www.chorditherapeutics.com/>をご覧ください。